

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
北海道新幹線建設局長
長谷川 正明 様

北海道新幹線 新小樽（仮称）駅 デザイン推薦書



令和6年3月
小樽市

日頃より、北海道新幹線新函館北斗・札幌間開業に向けて御尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市が要望した新小樽（仮称）駅のデザインコンセプト「浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅 ～まちの記憶を未来へ～」に対して、選び甲斐のある、素晴らしい三案のデザインを御提案いただき、感謝申し上げます。

駅舎デザインについては市民の関心も高く、市内の小・中学生を始め、多くの市民や道内外の皆様にもアンケートに御参加いただき、その結果を踏まえて「北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会・駅舎デザイン検討部会」において議論を重ねた上で、本市として推薦案を決定いたしました。

また、アンケートや駅舎デザイン検討部会で寄せられた、新駅に期待する様々な意見を踏まえ、より小樽らしさが感じられる印象的な駅舎となるよう、御検討いただきたい附带意見を添えますので、今後の実施設計に最大限反映してくださいますようお願い申し上げます。

令和6年3月28日

小樽市長 迫 俊哉

新小樽（仮称）駅 デザイン推薦案

【A案】歴史の継承

～小樽の歴史と懐かしさを後世に受け継ぐ品格のある駅～



新小樽（仮称）駅のデザイン案については、各案ともデザインコンセプト「浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅 ～まちの記憶を未来へ～」を的確に捉えつつ、それぞれ特色のある優れたデザイン案でありました。

その中でも、小樽の歴史的なまちなみを感じられる品格・落ち着きとモダンさを併せ持つA案は、アンケート調査で各層から最も支持されたことから、多くの人イメージする「小樽らしさ」が表現された、市民や来訪者に永く親しまれる、小樽の新たな玄関口に最も相応しい案であるとの結論に至りましたので、A案を推薦します。

附帯意見

外観

(全体)

- 雪あかりの路に見るろうそくの灯りや小樽運河周辺のカス灯、小樽駅にあるランプのように駅舎に温かみや柔らかな印象を与えるような照明による演出など、季節や時間帯による見え方の違いに配慮していただきたい。

(拡幅部)

- 内装にレンガや軟石といった小樽らしい仕上げを用いて外部に透けて見えるようにするなど、大きなガラス面を生かしたさらなる工夫を検討していただきたい。
- 1階の外壁は、軟石等の小樽らしい素材感のある仕上げを検討していただきたい。

(一般部)

- 一般部についても、ホームからの海への眺望に配慮した大窓を設けるなど、さらなる工夫を検討していただきたい。

(その他)

- 奥沢水源地側、天狗山などからの見え方を考慮した正面以外のデザイン・色調や、高架橋の仕上げなど、細部にわたる質感にも配慮していただきたい。

内部

- 内部には、利活用された歴史的建造物に見られる落ち着きやレトロ感、居心地の良さ、温かみのある照明など小樽らしさが感じられる、細部に至るまでこだわった空間づくりを検討していただきたい。
- 内部には、後志産の木材の使用や小樽に関係する作品を展示するスペースの設置、小樽の歴史・文化の表現など、小樽が感じられる仕掛けを検討していただきたい。
- 駅施設と附帯施設が一体的に利活用されるよう、機能の接続やデザインの統一に配慮していただきたい。
- 外国人観光客や高齢者など、すべての人に使いやすいユニバーサルデザインを取り入れ、外国語表記やゆとりのある通路幅・扉の高さ・手すりの配置等に配慮していただきたい。

その他

- 協働によるより良い駅づくりのため、工事完了まで地域との協議を継続していただきたい。